

# 授業・講座に博物館を利用してみませんか？

## 博物館を活用した教育プログラム研修会



福島県立博物館では、「昔の道具を使った学習」や近年ご要望が増えている「防災講座」をはじめ、小・中学校の理科や社会科、総合的な学習（探究）の時間の授業に対応した学習プログラムを各種ご用意しています。また学芸員との打ち合わせにより、授業や講座の内容に合わせた新しいプログラムをご提案できる場合もあります。

今回の研修では、博物館ならではの学習プログラムの一例を体験していただき、また講座の事例報告や小学校の授業の実践報告を通して、博物館を利用した授業・講座づくりについて考える機会にできればと思います。授業や講座の学習をより一層深めるために、博物館をぜひご利用ください。

【日 時】令和5年2月7日（火）10:30～15:00

【会 場】福島県立博物館 講堂・体験学習室

【対象者】定員 30名（教員、公民館・社会教育関係者、その他生涯学習・ミュージアムに関心をお持ちの方）

【主 催】福島県立博物館

【タイムスケジュール】

10:00～ 受付

10:30～10:40 開会

※各プログラムの詳細は、  
裏面をご覧ください。

10:40～11:10 講座Ⅰ「会津若松の移り変わりを知ろうー近現代編」

11:15～12:00 ワークショップ「昔の道具を使った学習」

12:00～13:00 昼食 ご希望の方には、リニューアルした当館ティールームにて特製ランチ（メインディッシュ+小鉢4品+ご飯+味噌汁）を¥1000(税込)でご提供します。  
昼食をご持参の方は、実習室でおとりください。

13:00～13:30 講座Ⅱ「福島の地質と化石（仮）」

13:35～14:05 講座Ⅲ「博物館を利用した授業・講座づくり～防災講座を事例に～」

14:10～14:40 実践報告 「博物館を利用した授業づくり（仮）」

14:40～14:55 対談・質疑応答

14:55～15:00 閉会

15:00～ ご希望の方は、常設展・企画展『写真展 福島、東北 写真家たちが捉えた風土/震災』の見学研修をご利用ください。

【申し込み方法】2/3(金)までに、メール件名「博物館を活用した教育プログラム研修会希望」として、本文に①氏名（ふりがな）②所属・職 ③e-mail アドレス ④参加形態（全日/午前のみ/午後のみ）⑤昼食時ティールームランチ利用の有無をお書きいただき、当館代表アドレス（general-museum@fcs.ed.jp）宛にお申込みください。

【その他】 ①ワークショップは外での活動や藁くずがつく活動があります。防寒、軽装でご参加ください。

②勤務対応については、県教育委員会承認の事業のため職専免での研修となります。

<問合せ先>福島県立博物館学芸課連携交流班（栗原・山口・西尾） 電話 0242-28-6000

## 【プログラム内容】

### ① 講座Ⅰ「会津若松の移り変わりを知ろうー近現代編」(30分)

地図や写真を使って、明治時代から昭和時代にかけての会津若松のまちの変化を辿ります。昔と今の地図を比較すると、生まれ育った場所でもいろいろな発見があります。小学校3年生の社会科「市の様子と人々のくらしの移り変わり」に対応した講座です。

### ② ワークショップ「昔の道具を使った学習」(45分)

実際に道具に触れて使い方を学び、昔のくらしを知るワークショップ。今回の研修では、冬季に使用していた雪踏み俵やカンジキなどの使い方を実際に体験してみます。小学校3年生の社会科「道具とくらしのうつりかわり」に対応したワークショップです。

### ③ 講座Ⅱ「福島の地質と化石(仮)」(30分)

福島の土地の成り立ちの説明を受けたあと、実物の化石や鉱物に触れて自然史を学ぶ講座です。中学校理科1年生「大地の変化」、3年生「生物の多様性と進化」の理科に対応した講座です。

### ④ 講座Ⅲ「博物館を利用した授業・講座づくり～防災講座を事例に～」(30分)

近年、学校や公民館からご要望の多い防災講座。基本プログラムとして、クロスロードワークショップや防災グッズづくりなどを提供しています。今回は、これまでに学校や公民館で実施してきた防災講座を事例に、博物館を利用した授業・講座づくりについて考えます。博物館ならではの防災講座の利点などを交えてお話しします。

### ⑤ 実践報告「博物館を利用した授業づくり(仮)」(30分)

令和3年度の会津若松ザベリオ学園小学校4年生は、約1年間にわたり「総合的な学習の時間」に当館を利用した授業に取り組みました。児童が地域の公共施設と接点を持ち、そこで働くひとびとを知り、最終的には施設が抱える課題の解決法を考えて提案するという授業内容でした。担任を務めていた菊地奈央先生より実践報告をして頂きます。

### ⑥ 対談・質疑応答(15分)

学校や公民館で防災講座を実施してきた当館の筑波匡介学芸員と会津若松ザベリオ学園の菊地奈央先生が、実践を踏まえて博物館を利用した授業・講座づくりについて対談します。対談のあと、質疑応答の時間を設けます。